

令和2年第7回加須市教育委員会定例会会議録

招集の日時	令和2年7月29日	午後1時30分
招集の場所	第1委員会室	※新型コロナウイルス感染症対策のため会場変更
開会の日時	令和2年7月29日	午後1時30分
閉会の日時	令和2年7月29日	午後4時45分
出席者の氏名	渡邊義昭教育長、福田孝夫教育長職務代理者、小林義之委員、遠藤康江委員、猪股富美子委員、秋山哲也委員	
欠席者の氏名		
会議に出席した者の氏名	江原千裕生涯学習部長、杉田 勝学校教育部長、大原英明生涯学習部副部長兼教育総務課長、細田周作生涯学習課長、平渡勢津郎文化・学習センター所長、石川達雄生涯学習部参事兼スポーツ振興課長、増田英二図書館課長、刑部香織学校教育課長、高貫 貢学校給食課長、塩崎昇一こども局副局長兼子育て支援課長兼学校教育部参事、野本朋子保育幼稚園課長兼学校教育部主席専門員、齋藤 誠学校教育課主幹兼指導主事、野本大輔学校教育課主幹兼指導主事、田島直樹学校教育課主幹兼指導主事、武井由加里教育総務課主幹	
会期日程	第1	会議時間の決定
	第2	会議録署名委員の指名
	第3	前回会議録の承認
	第4	報告第6号 臨時代理の報告について（辞令の発令について）
	第5	第43号議案 加須市立公民館運営審議会委員の委嘱について
	第6	第44号議案 加須市立集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について
	第7	第45号議案 加須市立学校給食センター運営委員会委員の任命について
	第8	第46号議案 令和3年度使用中学校用教科用図書の採択について
	第9	第47号議案 加須市立中学校に在籍する生徒の障害の種類及び程度の判断について
	第10	協議事項 「加須市人づくりプラン」における令和元年度の実施状況について
	第11	その他
発言者	会議の概要	
渡邊教育長	<p>定例会の開会に先立ちまして、ご報告を申し上げます。</p> <p>先月、6月に開催されました第2回加須市議会定例会の最終日におきまして、秋山哲也委員さんの教育委員の任命について議決をいただきました。</p> <p>これを受けまして、7月6日に、市長から秋山委員さんに教育委員の任命辞令の交付がなされたところでございます。</p> <p>秋山委員さんにおかれましては、令和2年7月7日から令和6年7月6日まで</p>	

	<p>の4年間、教育委員として、加須市の教育行政にご尽力を賜りたいと存じます。  それでは、秋山委員さんから、ご挨拶をいただきたいと存じます。</p>
秋山委員	<p>秋山哲也と申します。市内で、また、いくつかの学校でピアノの演奏指導をさせていただいております。私の息子が市内の小学校で世話になっております。こうしたコロナの大変厳しい状況の中、楽しい学校生活を送れるのも、現場の先生方、教育委員会の皆様のご尽力のおかげとっております。  教育委員という非常に重い職ですが、微力ながら何かできればと考えております。よろしくお願いいたします。</p>
渡邊教育長	<p>ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまから、令和2年第7回加須市教育委員会定例会を開会します。本日の会議は、新型コロナウイルス感染症対策として、3密対策として、換気をしながら行います。また、会議時間の短縮を図るため、事務局は各資料の説明について、簡潔明瞭に行ってください。</p> <p>本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。  本日は、傍聴希望者はございません。</p> <p><b>【日程第1 会議時間の決定】</b>  日程第1 会議時間の決定についてでございますが、本日の日程がすべて終了するまでとすることによろしいでしょうか。  (異議なしとの声あり)</p> <p>それでは、会議時間は、本日の日程がすべて終了するまでといたします。</p> <p><b>【日程第2 会議録署名委員の指名】</b>  日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は猪股委員にお願いいたします。</p>
渡邊教育長	
猪股委員	<p>はい。</p>
渡邊教育長	<p><b>【日程第3 前回会議録の承認】</b>  日程第3 前回会議録の承認についてですが、令和2年の第6回定例会の会議録については、事前にお配りしてございます。  前回会議録の内容について何かご質疑、ご意見等ございますか。  (なしとの声あり)</p>
渡邊教育長	<p>ご質疑、ご意見等ないようですので、前回会議録については承認ということでよろしいでしょうか。  (異議なしとの声あり)</p>
渡邊教育長	<p>それでは、承認とします。</p>

渡邊教育長

日程第4 報告第6号「臨時代理の報告について（辞令の発令について）」から日程第7 第45号議案「加須市立学校給食センター運営委員会委員の任命について」まで、及び 日程第9 第47号議案「加須市立中学校に在籍する生徒の障害の種類及び程度の判断について」は、個人情報を含む案件又は人事案件であることから、加須市情報公開条例第7条第1項第2号及び第4号の非公開情報にあたります。

また、日程第8 第46号議案「令和3年度使用中学校用教科用図書の採択について」は、【第20採択地区教科用図書採択協議会規約第17条】に「協議会の会議の議事録及び第14条第6項の資料については、関係市教育委員会において、教科用図書を採択した後、遅滞なく公表する。」とあることから、関係する羽生市教育委員会の採択後に公表することとなります。

よって、日程第4 報告第6号から日程第9 第47号議案までは、加須市教育委員会会議規則第3条第5項に基づき、会議を非公開とすることによろしいですか。

（よろしい との声あり）

渡邊教育長

それでは、これより会議を非公開といたします。

【日程第4 報告第6号「臨時代理の報告について（辞令の発令について）」】

【日程第5 第43号議案「加須市立公民館運営審議会委員の委嘱について」】

（全員賛成により原案可決）

【日程第6 第44号議案「加須市立集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について」】

（全員賛成により原案可決）

【日程第7 第45号議案「加須市立学校給食センター運営委員会委員の任命について」】

（全員賛成により原案可決）

【日程第8 第46号議案「令和3年度使用中学校用教科用図書の採択について」】

※第46号議案の質疑は、関係市教育委員会の教科用図書採択前であったことから非公開で実施

渡邊教育長

日程第8 第46号議案「令和3年度使用中学校用教科用図書の採択について」を議題といたします。事務局より説明させます。

刑部学校教育課長

加須市における令和3年度中学校使用教科用図書について、義務教育諸学校の

教科用図書の無償措置に関する法律第13条第5項の規定に基づき採択いたしました。この案を提出するものであります。

教科書採択においては、加須市は羽生市とともに、第20採択地区となっております。共同採択地区内の教育委員会は、協議の結果に基づいて、同一の教科用図書を採択することとなっております。

令和3年度使用中学校教科用図書につきまして、地域の実態、子供の実態、教師の実態などを中心に議論を重ね、第3回協議会において投票を行い、選定いたしました。

詳しい選定理由等につきましては、担当より説明申し上げます。

令和3年度使用中学校教科用図書の選定結果についてご説明をさせていただきます。

国語は、光村図書出版です。各学年に「言葉を集めよう」「言葉を比べよう」「言葉を選ぼう」という教材を系統的に位置付けており、巻末の「語彙を豊かに」とともに、語彙の拡充を図る構成となっているのが特徴です。

書写は、光村図書出版です。教科書と対応させながら、「書写ブック」を活用することにより、硬筆毛筆において、基礎的な事柄を定着させる工夫がなされております。

社会・地理的分野は、東京書籍です。章及び節を貫く課題が提示されております。章全体で、課題解決学習ができるような教科書の構成になっているのが特徴です。

社会・歴史的分野は、東京書籍です。他教科との連携を通して、マークを付けるなどの工夫がされており、社会的事象や現代的な諸課題をより深く理解できるように工夫がされております。

社会・公民的分野は、東京書籍です。1単位時間ごとに、学習したことを活用して思考・表現するようになっております。

地図は、帝国書院です。判型をA4に拡大し、地図が大きく見やすいつくりになっております。見開きにすると、A3のサイズとなり、広範囲の地域との結びつきも読み取ることができるようにつくりになっております。

数学は、新興出版社啓林館です。「みんなで学ぼう編」においては、小中学校の系統性を重視したつくりになっており、「自分から学ぼう編」では、生徒自らが学びの過程を振り返って評価をし、主体的な学びに繋がる配慮がなされております。

理科は、新興出版社啓林館です。「探Q実験」や「探Qシート」で探求する力を身につけられる工夫がなされております。学習内容に関わる科学の話題や、日常生活でどのように活用されているかなど、たくさん紹介されております。

音楽・一般は、教育芸術社です。1年間の学習の見通しをもつ「学びの地図」、1年間の学習を振り返るページが設けられているのが特徴です。

音楽・器楽合奏は、教育芸術社です。各楽器とも、平易な練習曲から学習が進められるようなつくりになっております。アンサンブルの教材では、様々な楽器編成に対応できる編曲上の工夫や楽器の編成を選択できるように設定をされています。

美術は、日本文教出版です。1ページ当たりの面積をフルに利用して原寸大を含む、数多くの写真・図版・解説等が提示されております。

保健体育は、東京書籍です。文章、イラスト・写真・資料のバランスがとてもよいつくりになっております。「見つける」「課題の解決」「広げる」の3つの学習ステップがあり、学習を進める、進みやすくするような工夫がなされております。

技術家庭・技術分野は、東京書籍です。キャラクターによる学習内容に合わせた呼びかけと多くの写真や図で生徒の興味を引き出すようなつくりになっております。

技術家庭・家庭分野は、東京書籍です。ガイダンスでは、問題解決的な学習を重視した流れの具体例とともに示し、各編の導入では、見方・考え方の例を示すなど問題解決に生かせるようになっております。

英語は、光村図書出版です。3年間を通してひと続きのストーリーとなっているのが特徴です。題材も多岐にわたっており、読んでいて楽しくなりそうな題材がとても多く載っております。

道徳は、日本文教出版です。教材と「道徳ノート」の二冊構成にすることによって、自己の心の成長や変容を記録し、実感したりすることが容易にできるような構成になっております。

以上でございます。

よろしくご審議の程お願いいたします。

渡邊教育長

事務局から説明がありましたが、委員さんの方から補足がございましたら、お願いいたします。

小林委員

私は選定委員の1人として参加させていただきました。前提として、どの教科書も出来が良いはずである、それは、すべての教科書が文科省の基準を合格したものであるからだ、ということが基本にあるだろうと思います。

その上で、専任の先生方が評価をしてくださったもののほかに、とりわけ私が注目していたのは、各中学校の先生方一人一人が、それぞれの教科書について、どういう思いを強調なさっていたかということでした。それらが前向きなのか、後ろ向きなのか、それとも非常に積極的なのかということ、自分なりに考察して、最終的には、その事を優先的に考慮して選定しました。加えて、PTAの方からの意見もありましたので、そのことも含めて選定しました。

結果として、最終的に選定されたものとの齟齬は非常に少なかったということが、印象的でした。

福田教育長職務代理者

小林委員さんがおっしゃったこと、私も同じようなことを感じました。

教科によっては教科書会社が6社くらいあります。それら全部に目を通して内容を読み込むのは、時間的にもなかなか難しい状況がありました。教科の要点のところを重点的に見ていくと各社の違いが見えるということで、そうしたこともしながら見させていただきました。

今回の学習指導要領で大きく変わったところの一つが英語です。これまでも中学校では英語をやっていた訳ですが、今後は、小学校で英語をやった児童が中学校に行くわけですので、その辺の繋がり等も見て、分析させていただきました。

それから、もう一つ、道徳も新しい教科ということで入ってきますので、その辺の資料等も見せていただきました。

小林委員さんもおっしゃったように、保護者や学校からの情報も参考にしながら総合的に見ていくことができました。

渡邊教育長

それでは、ご質疑、ご意見等ございましたらお願いします。

猪股委員

私もよく読んでみましたが、私たちが子供の頃と違って、主体的な学び、日常生

活に基づいた課題解決型の学習コンテンツ、カリキュラムマネジメントといったことをとても重視した構成になっているなど本当に感心しました。

一つ質問ですが、どの出版社も、GIGAスクールを想定した、ネットにおけるフォローアップの教材やネット学習のコンテンツなども充実していたかと思います。そうしたネットワークを想定した内容についての協議というのは、あまりなかったのでしょうか。

小林委員

学校現場からも専門委員の方からも、具体的にそうしたことを扱っているという声はありました。ただし、どちらの方が使いやすいだろうかというような優劣の評価ではなかったかなと思います。そうした技術的などころはこれからであって、先生方も期待はあっても評価まではしにくかったのかなという印象を受けました。

渡邊教育長

あくまでも教科書の選定であって、附属する教材についての選定ではないだろうということで、今回そこまでの審査はしておりません。

現在でも、各教科書会社は、それぞれの教科書に合わせたドリルやプリント等を出しています。この単元の1時間目については、教科書に加えて、このプリントを使うと学習効果が上がりますよという形ですね。ですが、それは教科書採択の基準に入れてはいけないうろと。そうした資料は毎年でも変えられますから。

ただ、今後、全員がパソコンを持って、という形になりますと、そういうものについても意見が出てくるだろうと。次回の採択が楽しみだと思います。

猪股委員

前回の採択と大きく変わった科目はあるのでしょうか。

野本学校教育課主幹兼指導主事

英語です。前回は開隆堂という会社の教科書を使っておりましたが、今回は光村図書に変わりました。これが大きな変更でございます。

渡邊教育長

満場一致で決まった教科書もございます。過半数を超えず、2度の投票になった教科書もございます。あるいは議長判断という形になったものもございます。本当に議論を重ねて出た結果です。

音楽と美術は教科書会社が2社ですので、これは意見を交わす中で一本化しました。そうではない教科もございました。

小林委員

印象的だったのは、英語です。どの教科書も特徴があって、評価もそれぞれだったように思います。前年の小学校の英語についても同様でしたが、同じ教科書の評価であっても、二重マルもあればバツも混在するという状況で、評価者の見方にかなり個性があるなというふうに思いました。やはり、英語教育については先生方も悩んでいる証でないかなという気がしました。

それからもう1点は音楽です。音楽は2社だったのですが、私には優位性が感じられませんでした。ただ、ある先生から、なるほどなという貴重な意見をいただいたものですから、その部分も尊重し、決まったという経緯がありました。

秋山委員

福田先生や小林先生、それから、GIGAスクールについての猪股先生の話もすごく興味深いなと思っておりました。

私は音楽の仕事をしておりまして、高校でもピアノ実技等を教えているのですが、他の教科は6社や4社という話がありましたが、音楽については、文科省で選

定されているのは2社しかないということによろしいでしょうか。

野本学校教育課主  
幹兼指導主事

はい。

秋山委員

わかりました。音楽も、本当は英語のように小学校からずっと中学校まで一貫してやっていくのが理想です。私は高校の音楽コースで教えておりました、同僚の感想もそうなのですが、音楽を志す生徒さんでも楽譜が読めないとか、楽譜の理解力がちょっと弱いような子もいらしているのです、もしこの2社以外で簡単な楽譜の読み方があるような教科書などがあれば、そちらの方を見たいなと思って伺いました。

それから、本当に英語など、昔じゃ考えられないほど楽しく学べるのではないかなと感じました。

遠藤委員

今回、たくさんの教科書を見させていただいて、私の子供時代にこういうのがあったら、もうちょっと勉強できたのではないかと思ったくらい、すごく興味を引くような内容になっていました。

教科書の選定というのは、とても大変なお仕事だなと感じました。それとともに、どの教科書になっても、子供たちにとっては、一番の教育環境はやはり先生だと思います。子供たちの興味が湧く楽しい授業になるような、そういう活用していただけたらと思います。

渡邊教育長

教科書ということで申し上げますと、自分が教員になった頃と比べると、今の教科書は重いです。ページ数は同じでも、写真を掲載するなど、中の紙質が良くなっています。大きくなって見やすくなったり、上と下に分かれていたものが一体化したりして、以前より重くなっています。

そういうことを考えていきますと、置き勉ですね。持ち帰らなくていけない教科書と学校に置いていく教科書とを区別して、指導していかないといけないだろうと。教科書の採択とは関係ないお話ですけども、参考にまでお願いできればと思います。

他にいかがでしょうか。

渡邊教育長

それでは、ご質疑、ご意見等ないようですので、お諮りします。

第46号議案「令和3年度使用中学校用教科用図書採択について」は、原案のとおり可決ということによろしいですか。

(異議なしとの声あり)

それでは、原案可決とします。

(全員賛成により原案可決)

【日程第9 第47号議案「加須市立中学校に在籍する生徒の障害の種類及び程度の判断について」】

(全員賛成により原案可決)

渡邊教育長

これより会議の非公開を解きます。

【日程第10 協議事項「『加須市人づくりプラン』における令和元年度の実施状況について」】

渡邊教育長

日程第10 協議事項「『加須市人づくりプラン』における令和元年度の実施状況について」を協議いたします。事務局より説明させます。

大原生涯学習部副  
部長兼教育総務課  
長

こちらは加須市人づくりプランにおける令和元年度の実施状況を取りまとめたものでございます。

「加須市人づくりプラン」は、「加須市人づくり宣言～教育大綱～」を踏まえまして、平成29年度から令和2年度までの計画期間とするプランで、平成29年の3月に策定したものでございます。今回は、令和元年度の実施分を取りまとめております。

2ページには、基本目標の達成度評価基準と、各事業の達成度の評価基準を定めております。

3ページには、平成29年度から令和元年度までの各事業の達成状況の推移です。平成元年度については、事業数が158本、そのうち、目標達成又は概ね達成したものが135事業、85.4%という評価になります。

参考までに、平成29年度からの推移は78.5%から81.8%、85.4%と、毎年度で達成する率が増加しております。今年度が計画の最終年度になりますが、着実に今、進めているところでございます。

4・5ページには、令和元年度の主な取組状況を基本目標ごとに文章でまとめたものでございます。

7ページは、令和元年度の158本の事業の評価の内訳です。先ほど「達成済」と「概ね達成」の事業数について申しあげましたが、一方で、「やや遅れている」事業が19本、12.0%、「大幅に遅れている」事業が4事業、2.5%という状況になっております。

これらにつきましては、現状や課題の分析等を踏まえながら、検証して、取り組んでいるところでございます。

8ページからは各事業の達成度評価となっております。

概要のみの説明になりますが、ご協議のほどよろしくお願いいたします。

渡邊教育長

以上説明がありました。ご意見等ございますか。

小林委員

評価基準について、実績値が目標値の80%以上で「概ね達成」、80%未満で「やや遅れている」、そんな形で評価しているわけですが、評価として例外的なものがあってもいいのではないかなという気がします。

それは、学力のところです。県の学力テストについての指標で、市の平均正答率を県平均正答率で割ってしまして、その数値が96%とあります。基準のとおり評価すると80%を超えているので「概ね達成」ということですが、これだけの重要なものを評価するのに、物差しを同じにするのはいかがなものかなと思います。

次に、3ページのグラフですが、見やすいだろうという趣旨だと思いますが、このグラフでは一本棒で、あまり意味がないのではないかという印象を持ちました。

それから、大幅に遅れていると評価した事業が、4件ありました。これらの事業を見てみると、今回のコロナのことで3月が休みになってしまって、最終の追い



込みができなかったということのようです。言い訳ということではなく、これは事実ですから、そのことをはっきり書いていいのではないかと思います。

渡邊教育長

学力について、80%を超えたから「概ね達成」というのは、評価としてどうだろうということかと思います。杉田部長、どうですか。

杉田学校教育部長

ご指摘ありがとうございます。  
国・県の学習テストについて、国の平均や県の平均と比較することがどうかという問題はありますが、加須市教育委員会といたしましては、国や県の平均を超えることを一つの目標にしております。  
目標を達成している学年もありますが、まだ達成していない学年もございます。概ね達成をしているけれども、まだまだ努力の余地があるという中で、今、学校でも取り組んでおりますし、教育委員会もタッグを組んで進めて参りたい。そういう思いも含めてということもご理解いただけるとありがたいなと思います。  
これは逃げてはいけない数字であると考えております。これからも精進して、100%に近づけ、さらに101%と、それを超える数値が出せるよう努力して参ります。

渡邊教育長

他にございますか。

遠藤委員

防災の関係で、水害などいろいろな災害がある中で、子供への防災教育はとても大事だと思います。「防犯啓発事業」で、子供も含めた全市民を対象に講座等をしているとありますが、子供の参加率などわかるといいなと思います。

杉田学校教育部長

昨年度、北川辺西小学校において、地域と一体となった防災訓練が行われました。その際に、北川辺地区の児童生徒が合わせて17名参加しております。  
教育委員会では、平成24年から中学生を対象にしたボランティアリーダー研修を実施しています。大人だけではなく、特に中学生については、市民の1人として、守られるだけではなくて、できることはやっぴいこう。教育委員会として、また、市としてそのように考えておりました、地域の防災訓練の中でも、具体的に動き始めているということをお報告させていただきます。  
併せて、今年度、学校教育課では、新しい事業として防災ノートを作成します。水害などの自然災害が発生した時に、自分は、そして家族はどう避難するのか、このノートに子供と家族が一緒になって記入していくというものです。現在、担当の方で作成を進めております。

遠藤委員

「震災対策訓練事業」や「防災教育推進事業」の方にも関連しますが、ハザードマップが各家庭に配られていますが、本当に見てない方が多い状況です。今、おっしゃったように、子供が学校の授業でやって、家族を巻き込んでというふうに、子供の方からの投げかけであれば、保護者も一生懸命と一緒にやると思います。  
今回、水害時の避難方法や避難所に行く経路等も変わったので、そういうこともきちんと家庭の中で話し合う機会を作ってもらえるように防災ノートは活用できると思いますので、積極的に行っていただけるとありがたいなと思います。

渡邊教育長

時間もございますので、お気づきの点がありましたら、メールでもお電話でも、ご意見をいただければと思います。

今後のスケジュールを考えますと、来週の金曜日までにご意見をいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

以上で協議を終わります。

【日程第11 その他】

渡邊教育長

日程第11 諸般の報告をいたします。

事前に資料を配ってあるものにつきましては、質疑のみという形にさせていただきます。

江原生涯学習部長

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策本部会議について（資料あり）
- ・ 台風19号対応検証結果等について（資料あり）

杉田学校教育部長

- ・ 新型コロナウイルス感染者発生時の対応について
- ・ 令和2年度 市立小・中学校、幼稚園の「運動会・体育祭の日程」（案）（資料あり）
- ・ 水害時避難場所としての小中学校について

塩崎こども局副局長兼子育て支援課長

- ・ 市立幼稚園の夏休みについて

刑部学校教育課長

- ・ GIGAスクール構想実現に向けた本市の取組状況について（資料あり）

渡邊教育長

以上、説明がありました。ご質問等ございますか。

遠藤委員

コロナの関係で、人権に配慮するよう保護者に手紙を出していただけるということで、とてもほっとしています。誰が感染したということを詮索する人というのはどうしてもいて、身近な子供たちが感染した場合に、本当につらい思いをしてしまうので、今日はそれをお願いしようかなと思っていました。先に説明していただいたので、ありがたく思っています。

先日、花咲徳栄で感染した方がいらっしゃったときに、学校からの公式発表の前に保護者の方が騒ぎ出してしまって、誰が悪いわけでもないのに学校が隠しているのではないかというふうな騒ぎになってしまって、部外者である私の耳にも入ってくるというようなことがありました。もし感染が発生したら、早く知らせるというような方向で話をしていただけたらいいなと思います。よろしくお願ひします。

渡邊教育長

その点については、個人情報保護条例がありますので、市や教育委員会が本人の意思に反して個人情報を公表することはできません。

例えば、学校に「家族に感染者が出たから子供を休ませます」という連絡があった場合、各学校から教育委員会に報告が入ります。しかしながら、それは、あくまで個人的な情報で、公表していい情報ではありません。

公表できる内容は、保健所からきた内容、具体的には住所地、年代、性別、同居人の有無くらいですが、それであっても、最終的に本人が公表したくないと言えば、公式的には発表されません。新聞等で「未公表」と集計されているのがそうし

	<p>た場合です。</p> <p>そうしたことも踏まえ、教育委員会として、人権を守るため、教育委員会からの文書を出すことを考えているところです。</p>
猪股委員	<p>水害時の避難所の資料がありますが、これはコロナ対策の前のものでしょうか、それとも対策後のもののでしょうか。</p>
江原生涯学習部長	<p>この資料を作成したのは、新型コロナウイルスの感染拡大前です。現状ですと、コロナ対策として3密回避のため、家族ごとに距離を空けなくてはなりませんので、収容人数がぐっと少なくなるということはございます。</p>
猪股委員	<p>今後、リスクの高い地域など、再調整の予定はありますか。コロナ対策として、各避難所の備蓄品なども変わってくると思いますが、そうしたところはアップデートされるのでしょうか。</p>
江原生涯学習部長	<p>基本的な考え方は変わりませんが、避難所に収容できる人数が限られますので、3～2日前の明るいうちに、自主的広域避難として、親類や友人宅、ホテルなどへの自主的広域避難をお願いしていくということでございます。</p>
猪股委員	<p>この資料見たときに、第1印象として、また学校の先生方が大変になるのではないかという危機感を感じました。今年度から市立の小中学校において、避難場所としての機能を強化するということです。そのことによって、校務文書が増えるとか、あるいはその災害時に教員の何割かは出勤するとか、具体的に教員の負担が増えることが見込まれているのでしょうか。</p>
渡邊教育長	<p>広域避難は加須の大越・樋遣川地区、北川辺地域、大利根地域の約3万人が対象です。そのうち、2割の方は自主避難をされるという見込みで、当初、2万8千人が避難できる場所として、小中学校などの公共施設を確保しました。</p> <p>現状では、新型コロナウイルス対策のため、収容できる人数は、その4分の1になりますので、ここにある避難所の収容人数は、7千人ということです。</p> <p>ですから、まずは、親戚や知人のところに逃げてくださいということを、今、各地区の説明会で訴えている、或いはこれから強く訴えていくということです。</p> <p>各学校は避難所になりますから、教職員が関わらなくていいということはありません。市の職員が班をつくって、それぞれの避難所に張り付きます。今までは避難場所として体育館だけを想定していましたが、それでは足りませんので、教室から廊下まで、すべてを使っていくという形になりますから、当然、学校の先生に協力していただかなくてはなりません。長期になれば、市の職員の方も教職員も交代しながら、共同で仕事をしていくという形になります。</p>
猪股委員	<p>ご無理のないようにしていただきたいと思います。</p> <p>GIGAスクールについてですが、タブレットを実際に導入しても、充電や個別管理をきちんとしなければ、授業などで使いたいときに使えません。周辺機器として、充電保管庫という、必ずそこに戻せば自動充電でき、一つ一つの個数管理もできるというものがあります。そういう専門機器として、充電保管庫を用意していただければと思います。</p> <p>また、家に持ち帰って使うということも想定して、やはりある一定の割合で水</p>

	<p>没や破損といったことは起こり得ますので、そうしたリスク管理マニュアルもきちんと準備して欲しいなと思います。</p> <p>一つ質問ですが、この学習支援ツールのミライシードについてなんですが、ソフトウェアは他にもいろいろなものがある中で、加須市教育委員会として、このミライシードを選んだ一番の理由は何でしょうか。</p>
刑部学校教育課長	<p>委員さんがおっしゃいますように、ソフトウェアは何社かありますので、プロジェクトメンバーで協議し、いくつか候補を絞りました。その中で、さらに現場の先生が使いやすいものを選定するため、各学校の情報教育担当者を集めた体験会を行いました。</p> <p>実際に使ってみて、どれが一番使いやすそうか、どれが子供にとって操作しやすいか等を含めて決定した次第でございます。</p>
猪股委員	<p>いくつか選択肢がある中で、実際に使って検討していただいた上での選択ということで、よかったです。</p> <p>それから、G I G Aスケールの準備にあたって、ルーターなどのネットワークの核となる機器については、水没の危険がある学校などは、1階は避けて設置するよう水害時の対策と合わせて検討していただければと思います。</p> <p>長くなって申し訳ないのですが、コロナの関係で授業が変則的になったり休業期間が長くなったりしたことで、先生方が1学期の学習の評価をつけるのに、すごく困っているというニュースを目にするのですが、加須市の現場の小中学校の先生方からは、そのような声は寄せられていないのでしょうか。</p>
刑部学校教育課長	<p>今のところ、各学校からそのような相談事案は出てきておりません。</p>
渡邊教育長	<p>先ほどの充電保管庫についてですが、これは工事の方に含まれておりまして、すべてのクラスに設置する予定になっております。</p> <p>他にございますか。</p>
小林委員	<p>来年の成人式について、1カ所に集まって実施するということがあったと理解しているのですが、そうでなくなったという資料もあったようですが。</p>
細田生涯学習課長	<p>成人式につきましては、今年度から1ヶ所で開催するという方針を決めたところでしたが、ご案内のとおり、コロナの関係から、令和2年は各地域での開催に戻すという方針を決定してございます。</p> <p>詳細につきましては、来月早々に新成人を集めた実行委員会を行いまして、そこで決定した後、公表する予定でございます。</p> <p>騎西、北川辺、大利根の各地域は各文化・学習センターで、加須地域は、パストラルかぞの大ホールのほか、小ホールも使いまして、4センター5カ所に分散して開催したいという方向で準備を進めているところでございます。</p>
福田教育長職務代理者	<p>宿泊を伴う学習について、先ほど説明がありました。ここにきてコロナの感染が全国規模で広がってきましたが、現時点では、修学旅行や林間学校等の行事はどのような状況になっているのでしょうか。</p>
刑部学校教育課長	<p>すべての学校で、日程を10月以降にスライドして予約している状況ですが、</p>

	<p>実際に行うか行わないか、あるいは再延期をするかは、8月下旬に判断する予定です。</p>
福田教育長職務代理人	<p>わかりました。厳しいとは思いますが、なんとか実施してあげたいですね。</p>
渡邊教育長	<p>他にございますか。</p>
秋山委員	<p>資料に運動会の予定がありましたが、各学校の音楽会や合唱祭はどういう予定になっているのでしょうか。</p>
刑部学校教育課長	<p>まだ各学校に詳細な報告は求めておりませんが、中学校では、人数が多いところは2回に分けてやるなど、工夫して実施する方向で考えていると聞いております。</p>
秋山委員	<p>私の行っている学校でも、合唱の授業はクラスターの危険性が高いということで、禁止になっています。岐阜の方やオランダ方でも2月か3月にクラスターが発生して亡くなった方もいました。</p> <p>歌に関しては、声楽の個人レッスンだけは、非常に広い教室を借り、窓をすべて全開にして、生徒との間に飛沫防止のビニールもして、という対策を取ってやっていますが、合唱は禁止しています。同様に、大規模なアンサンブルも中止しています。そういう現状にあります。</p>
刑部学校教育課長	<p>学校の方でも、曲は決めたいけれども、現状では、練習はできていないと聞いています。</p>
秋山委員	<p>わかりました。</p>
渡邊教育長	<p>以上で報告を終わります。</p> <p>それでは、以上で、令和2年第7回定例会は終了となります。</p> <p>次回、令和2年第8回定例会は8月19日（水）午後1時30分に開会します。これをもちまして、令和2年第7回加須市教育委員会定例会を閉会といたします。ご苦労さまでした。</p> <p>上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。</p> <p>令和2年8月19日</p>

教育長 渡 邊 義 昭

委 員 猪 股 富美子

書 記 武 井 由加里